

故・荒井良雄の著書一覧 —国立国会図書館 OPAC より

A Booklist of Late Professor Yoshio Arai —From the OPAC of the National Diet Library

菊地 善太
KIKUCHI Zenta

Abstract: Yoshio Arai, Professor Emeritus at Komazawa University, passed away on April 8, 2015. He has left behind a remarkable contribution in the field of English Literature and Theater Performance. This paper mourns his death, introduces his biography, and provides a booklist comprising the books and papers that he contributed. The search was performed using the OPAC of the National Diet Library of Japan. A total of 111 items, comprising both books and papers are mentioned in the booklist.

Keywords : Yoshio Arai, English Literature, Theater Performance, OPAC, National Diet Library of Japan

荒井良雄、英文学、演劇上演、OPAC、国立国会図書館

1. はじめに

2015年4月8日に英文学者の荒井良雄が永眠した¹。国際融合文化学会の名誉会員として大所高所からご意見をくださった荒井良雄氏の急逝を悼みます。シェイクスピア演劇研究をはじめ、ワイルド研究、逍遥研究、R.H.ブライス研究など、荒井良雄の英文学や演劇の分野における貢献は多大で多岐に及んでいるが、荒井の活躍はその膨大な著書からも窺える。本稿では荒井良雄の略歴を記すとともに、国会図書館 OPAC による検索（2015年6月末）から荒井の著書を調べて出版年順にまとめた。同姓同名の別人と思われる著書やレファレンス共同データベースの資料は外し、同一と思われる資料が複数掲載されている場合は一つに纏めた。著者や編者に名前がない場合は分担執筆²や翻訳等の関わりがないか内容詳細で調べて記した。また、参照の便宜を鑑み通し番号を附した。

2. 荒井良雄（1935-2015）略歴

¹ 産経新聞記事「英米文学者、荒井良雄氏が死去」2015年4月15日より。

² 分担執筆のタイトルは、国会図書館 OPAC では「部分タイトル」として表記されているが、本稿では「分担執筆」と読み替えて記載した。

(国際融合文化学会 2007 年春大会のプログラム「講師略歴」³より)

昭和 10 年(1935 年)京都市生まれ。学習院大学大学院修士課程修了後、同大学文学部助手、専任講師、助教授、教授(10 年)の後、駒澤大学大学院教授(21 年)を経て、平成 17 年 6 月から駒澤大学名誉教授。英文学者としての仕事には、『イギリス文学案内』(共著)、『新アメリカ文学案内』(近刊・執筆)、『オスカー・ワイルド事典』(編集委員)、『シェイクスピア大事典』(編集主幹)、『ディケンズ鑑賞大事典』(近刊・執筆)、『シェイクスピア劇上演論』、『イギリス演劇と映画』、『英米文学映画化作品論』、『朗読シェイクスピア全集の世界』、『英語文化手帳』など 40 冊以上。英文著書に *Speech in Action—Reading and Speaking in Public*(2004)と *Zen in English Culture*(2005)。論文は「シェイクスピア劇主要人物役柄研究」、「オスカー・ワイルドの戯曲」、「ディケンズ朗読台本研究」など 25 編、英語論文は ‘Kurosawa’s Three Shakespeare Films’, ‘Henry VI in Japan’, ‘Shakespeare in Japan’s Zen Philosophy’ など 12 編。日本ワイルド協会第 5 代会長および顧問、日本英文学会評議員、逍遙協会評議員、日本国連協会理事などを歴任。放送関係ではNHK教育テレビ英語講座講師 4 年、文化放送「百万人の英語」講師 10 年、ほかに「シェイクスピアへの招待」(NHKテレビ)、「BBCシェイクスピア解説」(NHKテレビ)、「朗読シェイクスピア」(NHKラジオ 5 回連続)など。『ワイルド喜劇全集』など英米演劇の翻訳や上演台本、『ブラウニング版』や『お茶と同情』など英米演劇のテキスト版注釈なども多数ある。演劇研究者の仕事には、役者として近代座のシェイクスピア公演に多数出演、『冬の夜ばなし』のリオンティーズを主演、演出者としてはシェイクスピアの『ヴェローナの二紳士』やワイルドの『真面目が大切』などを日本初演、上演台本作者としては、和泉流で「狂言シェイクスピア」を創造し国立能楽堂とロンドンで上演、これにて家元の和泉元秀師はグローブ名誉賞受賞。近作には朗読台本『リンカンの肖像』(リンカン生誕二百年特別企画)がある。

(筆者加筆) 晩年のこの数年、東京・阿佐ヶ谷で阿佐ヶ谷ワークショップ特別講演を企画・開催し、シェイクスピア劇(能狂言含む)の研究、ブライス研究、ワイルド研究、等の研究者を呼び、発表の機会を与えて支援した。そして、2015 年 4 月 8 日、口腔(こうくう)がんのため死去した⁴。

3. 荒井良雄 著書一覧

(調査方法) 国立国会図書館 OPAC 検索(2015 年 6 月末)により「荒井良雄」をキーワードに著書を調べ、図書と記事・論文についてリストを作成した。リストの並び順について、(図書)は、通し番号(ジャンル)『タイトル』著者・編著者、出版社 出版年、備考、の順に、(記事・論文)は、通し番号(ジャンル)「記事・論文タイトル」著者、掲載頁、掲載誌『タイトル』巻

³ 国際融合文化学会 2007 年春大会のプログラム。同大会で荒井良雄が「シェイクスピアの中の禅」のタイトルで特別講演したときのプログラムに「講師略歴」欄があり引用した。

⁴ 産経新聞、読売新聞等の 2015 年 4 月 15 日記事より。

号、発行者・出版社 出版年月、掲載頁(先に記載のない場合)、備考. の順にそれぞれ記した。尚、図書の分担執筆や論文・記事の分担タイトルで、荒井先生の単独著書であることが明確なタイトルについては、荒井先生の名前の記載を省略した。また不明な箇所も記載を省略している。

(荒井良雄 著書一覧)

《図書》

- 001 『英米の名言集：英和対照』 稲村松雄, 荒井良雄 (編)、原書房 1965.
- 002 『英米名詩集』 稲村松雄, 荒井良雄 (編), 加藤恭平 (訳)、原書房 1965.
- 003 『アメリカ掌篇小説選集：英和対照』 稲村松雄, 武田千枝子 (編), 荒井良雄ほか (翻訳)、原書房 1966.
- 004 『ラッセル名言集：英和対照』 正田義彰, 荒井良雄 (編)、原書房 1966.
- 005 *John F. Kennedy*, Vol.1, Bruce Lee (著), 稲村松雄, 荒井良雄 (編)、開隆堂 1967、Kairyudo Extensive Reading Series; No.305.
- 006 『ブラウニング版 = *The Browning Version*』 (Seibido's English Texts 60), Terence Rattigan (著), 荒井良雄, 五島正一郎 (注解)、成美堂 1968.
- 007 『立体・イギリス文学』 野町二, 荒井良雄 (著)、朝日出版社 1968.
- 008 『わが座右の名言』 William I. Nichols (著), 稲村松雄, 荒井良雄 (編注)、朝日出版社 1969.
- 009 『立体・イギリス文学』 (増補版) 野町二, 荒井良雄 (著)、朝日出版社 1968.
- 010 『アメリカ文学への招待』 稲村松雄, 荒井良雄, 武田千枝子 (編)、原書房 1972.
- 011 『シェイクスピア劇 上演論』 荒井良雄、新潮社 1972.
- 012 『シェイクスピアと映画』 ロジャー・マンヴェル (著), 荒井良雄 (訳)、白水社 1974.
- 013 『ワイルド悲劇全集』 オスカー・ワイルド (著), 荒井良雄 (編)、新樹社 1975.
- 014 『ワイルド喜劇全集』 オスカー・ワイルド (著), 荒井良雄 (編)、新樹社 1976.
- 015 『青春よ永遠に：ジェームズ・ディーンのすべて』 荒井良雄 (編)、芳賀書店 1977、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 016 『シネマ名言集』 荒井良雄、芳賀書店 1977、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 017 『イギリス文学案内』 野町二, 荒井良雄 (編著)、朝日出版社 1977、(世界文学シリーズ).
- 018 『シンデレラ』 荒井良雄 (編)、芳賀書店 1977、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 019 『愛の名場面、名セリフ』 荒井良雄、英潮社 1978、(Screen library)シリーズ.
- 020 『シネマ名言集 2』 荒井良雄、芳賀書店 1978、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 021 『スクリーンイングリッシュ：合冊版 1978 上巻』 荒井良雄、英潮社 1978.
- 022 『シネマ英会話』 荒井良雄 (編)、芳賀書店 1979、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 023 『名優名場面名セリフ』 荒井良雄、英潮社 1980、(Screen library)シリーズ.

- 024 『よみがえるジミー：デニス・ストック写真集』デニス・ストック（文）、荒井良雄（訳）、芳賀書店 1980.
- 025 『スクリーンイングリッシュ：合冊版 1979 下巻』荒井良雄（企画・監修）、英潮社 1980.
- 026 『英米の名言集』稲村松雄、荒井良雄（編）、原書房 1981.
- 027 『父と映画と私』荒井良雄（編著）、新樹社 1981.
- 028 『シネマ名言集 3』荒井良雄、芳賀書店 1982、(映画で英語を楽しもう)シリーズ.
- 029 『映画と英語を一緒に』荒井良雄、日本英語教育協会 1982、
(ブックスフォーミリオンズシリーズ) .
- 030 『イギリス演劇と映画』荒井良雄、新樹社 1982.
- 031 『英語英文学と共に』荒井良雄、新樹社 1984.
- 032 『ブロードウェイ!ブロードウェイ!』大平和登、荒井良雄（著）、朝日新聞社 1985.
- 033 『洋画講義の実況中継『マルタの鷹』』荒井良雄、語学春秋社 1986.
- 034 『スター誕生 逢いびき』W. ウェルマン, R. カースン, N. カワード（作）、荒井良雄、川股陽太郎（訳）、語学春秋社 1987、(シナリオ・カセット英語名作シリーズ ; 13).
- 035 『サロメと名言集』オスカー・ワイルド（著）、オーブリー・ピアズリー（画）、川崎淳之助、荒井良雄（訳編）、新樹社 1989.
- 036 『朗読シェイクスピア全集の世界』荒井良雄、新樹社 1993.
- 037 『ワイルド全集』（第 5 卷）矢口達（編）、日本図書センター 1995、
分担執筆「オスカー・ワイルドの世界」.
- 038 『英米文学映画化作品論』荒井良雄、新樹社 1996.
- 039 『シェイクスピア大事典』荒井良雄、大場建治、川崎淳之助（編）、日本図書センター 2002.
- 040 『スター誕生：Astar is born』W.A.ウェルマン, R.カースン（著）、荒井良雄、川股陽太郎（訳注）、語学春秋社 2002、(イングリッシュトレジャリー・シリーズ ; 7).
- 041 『イギリス文学案内：代表的作家の生涯・主要作品・文学史年表・翻訳文献等の立体的便覧』（増補改訂版）野町二、荒井良雄（編著）、朝日出版社 2002.
- 042 *Speech in action : reading and speaking in public* 荒井良雄、早坂信（はやさかまこと）（編）、英潮社 2004
- 043 『ブライス禅の世界：平和は詩心から』荒井良雄、北星堂書店 2004.
- 044 『ディケンズ朗読短篇選集』ディケンズ（著）、小池滋（編著）、北星堂書店 2006、
分担執筆「ひいらぎ旅館のブーツ」荒井良雄、逢見明久（訳）.
- 045 『R・H・ブライスの人間像：俳句と川柳に禅を求めて』荒井良雄（編）、北星堂書店 2006.
- 046 『シェイクスピア劇の翻訳と演出：坪内逍遙と加藤長治』荒井良雄（編）、英光社 2010.
- 047 『絵本・わらべとチャチャの般若心経』幻一（自由訳・絵）、荒井良雄（監修）、幻一 2010.
- 048 『英語名演説集』荒井良雄（編）、尾崎寔（注釈）、英光社 2010.
- 049 『戦後日本のシェイクスピア：国際化から二十一世紀へ』荒井良雄（編著）、英光社 2011.

- 050 『やさしいシェイクスピア』 荒井良雄、英光社 2011.
- 051 『ディケンズ朗読短篇選集 2』ディケンズ(著)、小池滋、西條隆雄(編)、開文社出版 2012、
分担執筆「ヨークシャー学校のニコラス・ニクルビー」(訳).
- 052 『オスカー・ワイルドの世界』 富士川義之、玉井暉、河内恵子(編著)、開文社出版 2013、
分担執筆「ワイルドとシェイクスピア」.
- 053 『シェイクスピア一日一言：名句とクイズ』荒井良雄(監修)、槍振一郎(著)、英宝社 2014.
- 054 『花のレクイエム』辻邦生、太郎次郎社エディタス 2014、注記 朗読：荒井良雄、DVD 付.

《記事・論文》

- 055 「シェイクスピア劇主要人物役柄研究 第一部 シャイロック」、
掲載誌『学習院大学文学部研究年報』(通号 11)、学習院大学文学部 1965.05、pp. 203-233.
- 056 「シェイクスピア劇の Stage Direction について」、
掲載誌『日本演劇学会紀要』(通号 7)、日本演劇学会 1965.06.
- 057 「シェイクスピア劇主要人物役柄研究 第二部 マルポーリオ」、
掲載誌『学習院大学文学部研究年報』(通号 13)、学習院大学文学部 1967.02、pp. 83-102.
- 058 「シェイクスピア劇主要人物役柄研究 第三部 リオンティーズ」、
掲載誌『学習院大学文学部研究年報』(通号 16)、学習院大学文学部 1970.02、pp. 25-43.
- 059 「ある俳優の生活—ロイヤル・シェイクスピア・カムパニー来日記念講演より」
シンデン・ドナルド(著)、荒井良雄(訳)、掲載誌『新劇』17(3)、白水社 1970.03、
pp.28-35.
- 060 「『シェイクスピアの世界』」(書評)、p.59、
掲載誌『英語研究』62(3)、研究社出版 1973.06.
- 061 「逍遙のシェイクスピア」 pp.39-52、掲載誌『坪内逍遙研究資料』(5)、新樹社 1974.05.
- 062 「シェイクスピア伝記資料の集大成」 pp.12-15、掲載誌『學鐙』72(10)、丸善 1975.10.
- 063 「オスカー・ワイルドの戯曲」、
掲載誌『学習院大学文学部研究年報』(通号 23)、学習院大学文学部 1976、pp.195-221.
- 064 「現代に甦えるワイルド」 pp.16-19、掲載誌『學鐙』74(7)、丸善 1977.07.
- 065 「リオンティーズ—(シェイクスピア劇紳士録)」 p.256、
掲載誌『英語青年』124(6)(1555)、研究社 1978.09.
- 066 「ことばの小径 チャイナ・シンドローム」 p. 99、
掲載誌『朝日ジャーナル』21(39)(1077)、朝日新聞社 1979.10.
- 067 「劇作家ワイルド」(オスカー・ワイルド<特集>)、
掲載誌『ユリイカ』12(10)、青土社 1980.09、pp.180-189.
- 068 「晩年の本間久雄博士」 pp.20-23、掲載誌『學鐙』78(9)、丸善 1981.09.
- 069 「おもしろ図書館」 p.77、掲載誌『週刊サンケイ』32(54)(1812)、扶桑社 1983.12.

- 070 「連載記事 こんな本を買いました」川本恵子, 黒羽亮一, 荒井良雄, p.14、
掲載誌『時事英語研究』39(5)、研究社 1984.08.
- 071 「コラム記事 From Readers」pp.106-108、掲載誌『時事英語研究』39(5)、研究社 1984.08.
- 072 「映画の本」p.190、掲載誌『キネマ旬報』(900)(1714)、キネマ旬報社 1984.12.
- 073 「オニールとブロードウェイ—アメリカ演劇映画論」、
掲載誌『英米文学』(通号 20)、駒澤大学文学部英米文学科 1985.03、pp.1-16.
- 074 「特集 白い町で フロント・ページ」二谷英明, 淀川長治, 八住利雄, 荒井良雄, pp.39-41、
掲載誌『キネマ旬報』(928)(1742)、キネマ旬報社 1986.02.
- 075 「日本のシェイクスピア劇上演—最近の動向を中心に (シェイクスピア—劇場と戯曲)」、
掲載誌『文学』54(4)、岩波書店 1986.04、pp.264-276.
- 076 「文学と映画(Symposia 第七部門 日本英文学会第 58 回大会報告)」荒井良雄, 青木信義,
蓮実重彦、掲載誌『英文學研究』63(2)、日本英文学会 1986.12.01、pp.444-445.
- 077 「黒沢明とシェイクスピア—「乱」を中心として [英文]」、
掲載誌『駒澤大學文學部研究紀要』(通号 45)、駒澤大學文學部 1987.03、pp.97-112.
- 078 「米文学者の詩と英文学者の曲」p.283、
掲載誌『英語青年』133(6)(1663)、研究社 1987.09.
- 079 「フロント・ページ」永山俊弘, 田山力哉, 伏屋博雄, 荒井良雄, pp.41-43、
掲載誌『キネマ旬報』(973)(1787)、キネマ旬報社 1987.12.
- 080 「フロント・ページ」宮島秀司, 荒井良雄, 山田和夫, 阿部嘉典, pp.43-45、
掲載誌『キネマ旬報』(978)(1792)、キネマ旬報社 1988.02.
- 081 「シェイクスピア全作朗読」pp.88-90、掲載誌『文芸春秋』66(7)、文芸春秋 1988.06.
- 082 「エッセイ オニール映画フェスティバルを終えて」p.125、
掲載誌『キネマ旬報』(1004)(1818)、キネマ旬報社 1989.03.
- 083 「劇作家エリオット (T.S.エリオットを読む—モダニズムの現在)」、
掲載誌『文学』57(4)、岩波書店 1989.04、pp.66-76.
- 084 「「人生が芝居、芝居が人生」—オリヴィエの演劇・映画人生」p.338、
掲載誌『英語青年』135(7)(1688)、研究社 1989.10.
- 085 「夏と夜と夢」pp.6-7、掲載誌『Moe』12(5)(130)、白泉社 1990.08.
- 086 「ヘンリー五世 作品論」pp.80-81、
掲載誌『キネマ旬報』(1042)(1856)、キネマ旬報社 1990.09.
- 087 「加藤長治のシェイクスピア」pp.22-25、掲載誌『學燈』87(10)、丸善 1990.10.
- 088 「映画の本」荒井良雄, 森卓也, pp.172-173、
掲載誌『キネマ旬報』(1045)(1859)、キネマ旬報社 1990.11.
- 089 「ディケンズ「公開朗読」研究—自作朗読家としてのディケンズ」、
掲載誌『駒澤大學文學部研究紀要』(通号 52)、駒澤大学文学部 1994.03、pp.1-21.

- 090 「ワイルドと日本文学」、
掲載誌『英米文学』29、駒澤大学文学部英米文学科 1994.03、pp.1-10.
- 091 「もう 1 本の黒沢シェイクスピア—「悪い奴ほどよく眠る」は現代日本の「ハムレット」?」、
掲載誌『キネマ旬報』(通号 1133)、キネマ旬報社 1994.06、pp.78-81.
- 092 「特集 ピーターズ・フレンズ 作品評 ケネス・ブラナー論」谷川建司, 荒井良雄,
pp.64-67、掲載誌『キネマ旬報』(1146)(1960)、キネマ旬報社 1994.11.
- 093 「「冬物語」上演の問題点」、
掲載誌『英米文学』(通号 30)、駒澤大学文学部英米文学科 1995.03、pp.1-14.
- 094 「ディケンズの「公開朗読台本」研究」、
掲載誌『駒澤大学文学部研究紀要』(通号 53)、駒澤大学文学部 1995.03、pp.49-84.
- 095 「新刊書架—川地美子著『シェイクスピアと文化交流』(荒井良雄)ほか、海老根宏(編)、
pp.531-534、掲載誌『英語青年』141(9)(1762)、研究社 1995.12.
- 096 「研究発表第十一室(日本英文学会第 67 回大会報告) 荒井良雄, Dorsey John T.,
浜名恵美、掲載誌『英文学研究』72(2)、日本英文学会 1996.01、pp.345-346.
- 097 「グローブ座再建の夢と現実」、掲載誌『學鐙』93(9)、丸善 1996.09、pp.30-33.
- 098 「稲村松雄先生を悼む」佐藤喬, 荒井良雄, pp.42-43、
掲載誌『英語教育』45(12)、大修館書店 1997.01.
- 099 “Kurosawa's Shakespeare Films”、
掲載誌『駒澤大学文学部研究紀要』(通号 55)、駒澤大学文学部 1997.03、pp.23-36.
- 100 「特集 ハムレット: 映画とシェイクスピア」佐藤友紀, 荒井良雄, 萩尾瞳, pp.107-113、
掲載誌『キネマ旬報』(1246)(2060)、キネマ旬報社 1998.02.
- 101 「作品評 (作品特集 オスカー・ワイルド)」、
掲載誌『キネマ旬報』(通号 1251)、キネマ旬報社 1998.04、pp.47-48.
- 102 「映像と言語—英米日の文芸映画を中心に」、
掲載誌『聖徳大学総合研究所論叢』(通号 6)、聖徳大学総合研究所 1999.03、pp.207-230.
- 103 「Fellowship's Miscellany / News and Reports 95th international Conference of the
Dickens Fellowship に出席して」、掲載誌『ディケンズ・フェロウシップ日本支部年報』(24)、
ディケンズ・フェロウシップ日本支部 2001.10、pp.110-112.
- 104 「講演 ディケンズ文学の語り—文体と朗読表現の関係」、(2001 年度 [ディケンズ・フェロ
ウシップ日本支部] 春季大会)、掲載誌『ディケンズ・フェロウシップ日本支部年報』(24)、
ディケンズ・フェロウシップ日本支部 2001.10、pp.159-164.
- 105 「無の研究—ブライス禅の世界」(特集 R.H.ブライス没後 40 年)、
掲載誌『駒澤大学禅研究所年報』(16)、駒澤大学禅研究所 2004.12、pp.244-214.
- 106 「駒澤大学英語英文学の伝統と継承—『試論』をめぐる」、
掲載誌『試論』(32)、駒澤大学大学院英文学研究会 2005.04、pp.77-80.

- 107 「Fellowship's Miscellany News and Reports ディケンズ・フェロウシップのカンタベリ
一国際大会に参加して」、掲載誌『ディケンズ・フェロウシップ日本支部年報』(28)、ディケ
ンズ・フェロウシップ日本支部 2005.10、pp.63-66.
- 108 「Fellowship's Miscellany News and Reports フィラデルフィアとニューヨークでの講演
と朗読」、掲載誌『ディケンズ・フェロウシップ日本支部年報』(28)、ディケンズ・フェロウ
シップ日本支部 2005.10、pp.67-69.
- 109 「英訳「般若心経」の周辺」、
掲載誌『財団法人松ヶ岡文庫研究年報』(26)、松ヶ岡文庫 2012、pp.125-139.

4. 終わりに

本稿では国立国会図書館 OPAC の検索により「荒井良雄」をキーワードに著書を調べたが、
そもそも国会図書館 OPAC のデータベースに収録されていない資料もあれば、収録されてい
ても分担執筆まで入力されていない著作もあり、今回の検索に掛からない漏れがある。筆者の手
持ちの資料で、少なくとも下記の図書2点について、国会図書館蔵書であるものの分担執筆の
タイトルがデータベースから漏れていた。

- 110 『シェイクスピアと狂言：東西喜劇比較研究』滝静寿（編著）、新樹社 1992、
分担執筆「『詩学』と『花伝書』」、pp.40-50.
- 111 『シェイクスピアと狂言：東西喜劇比較研究』滝静寿（編著）、新樹社 1992、
分担執筆「英語狂言の創造をめぐる」、pp.102-114.

なお、今回は載せていないが、『やさしいシェイクスピア』⁵でも漏れている資料を幾つか発
見した。また、今回の調査では、単著にて荒井良雄の複数の論文・記事が収録されているとき
に其々のタイトル名について抽出しておらず、単著のタイトル名、あるいは共著の「分担執筆」
タイトル名のみ抽出・記載するにとどめたので、本稿から調べてもそうした論文・記事の資
料が見つからないことも考えられる。今後更新する機会があれば、そういったタイトルについ
ても詳細に調べたい。また、読者からご指摘があれば、それも確認して訂正したい。

本稿が荒井良雄氏の業績を顧みる一助となれば幸いです。謹んで故人のご冥福をお祈り申
し上げます。

⁵ 前掲通し番号 104 の資料。巻末「附録」に「図版 私の略歴と役歴」があり、そこに本稿未
記載の資料が複数掲載されていた。